

# 研修参加報告書

平成30年 4月17日

会 派 名 江政クラブ  
会派代表者 河合 正猛

(参加者：藤岡 和俊、幅 章郎 )  
研修参加の結果について、次のとおり報告します。

①

年 月 日	平成30年4月12日（木曜日）～4月13日（金曜日）
研修時間	12:30～17:00、9:00～12:30
研修場所	全国市町村国際文化研修所（J I A M）
研修内容	<p>平成30年度第1回市町村議会議員特別セミナー 観光をテーマに、地域活性化、雇用機会の増大などの効果が期待される。人口減少時代において、これからの地域の活力の維持向上のために、地域全体の価値を向上させ、観光による地域づくり、まちづくりを進める方策について考える。</p> <p>4月12日（木）1日目 【講義1】 演題：豊岡の観光戦略～Local &amp; Global～ 講師：中貝宗治氏（兵庫県豊岡市長）</p> <p>【講義2】 演題：観光立国と地方創生～インバウンドが切り拓く地域の未来 講師：中村好明氏（一般社団法人日本インバウンド連合会理事長）</p> <p>4月13日（金）2日目 【講義3】 演題：観光・地域振興のあり方を考える～観光は地域を元気にできるか～ 講師：東徹氏（立教大学観光学部教授・観光研究所長）</p> <p>【講義4】 演題：京菓子老舗女将のとおきのお話 講師：田丸みゆき氏（笹屋伊織女将・京都観光おもてなし大使）</p>

# 研修参加報告書

①

年月日	平成30年4月12日（木曜日）～4月13日（金曜日）
研修時間	12:30～17:00、9:00～12:30
研修場所	全国市町村国際文化研修所（JIAM）
研修内容	<p>平成30年度第1回市町村議会議員特別セミナー 観光をテーマに、地域活性化、雇用機会の増大などの効果が期待される。人口減少時代において、これからの地域の活力の維持向上のために、地域全体の価値を向上させ、観光による地域づくり、まちづくりを進める方策について考える。</p> <p>4月12日（木）1日目 【講義1】 演題：豊岡の観光戦略～Local &amp; Global～ 講師：中貝宗治氏（兵庫県豊岡市長）</p> <p>【講義2】 演題：観光立国と地方創生～インバウンドが切り拓く地域の未来 講師：中村好明氏（一般社団法人日本インバウンド連合会理事長）</p> <p>4月13日（金）2日目 【講義3】 演題：観光・地域振興のあり方を考える～観光は地域を元気にできるか～ 講師：東徹氏（立教大学観光学部教授・観光研究所長）</p> <p>【講義4】 演題：京菓子老舗女将のとおきのお話 講師：田丸みゆき氏（笹屋伊織女将・京都観光おもてなし大使）</p>
■目的	<p>観光をテーマに研修し、江南市の地域づくり、まちづくりを進める方向について考えていきたい。また、参加の他の市町村議員の方々と交流を深め、情報交換をし、今後の参考にしたい。</p>

## ■内容

4月12日（木）1日目

### 【講義1】

演題：豊岡の観光戦略～Local & Global～

講師：中貝宗治氏（兵庫県豊岡市長）

人口8万2千人で、江南市より人口の少ない日本海側の町であるが、非常に積極的な取り組みをしている。

「小さな世界都市」を掲げ、世界から尊敬される都市を目指している。

人口減少を食い止めるのが地方創生。豊岡市には大学がないので、高校を卒業すると、豊岡市から出ていく。社会的、経済的、文化的に「貧しい地方」と「豊かな都市」という強烈なイメージがある。「地方は貧しくてつまらない」から若者が流出する。地方は閉鎖的で、チャンスがない。そのため、「地方で暮らす価値」の創造が必要である。

(1) Local & Global 人口規模は小さくても、世界の人々から尊敬される

(2) 情報発信 秘書広報課に情報戦略担当 豊岡の情報を東京へ届ける。「箱根の山を越えろ」と指示。TOYOOKA EXHIBITION 2017に230名が参加。

(3) データの収集と分析 地域の稼ぐ力を引き出す。副市長を全国公募。内部からの副市長と2人体制にする。倍率は1371倍。民間と繋がり、観光客の動きをデータ化（ユーザの行動分析）。民間との連携。

(4) Local & Global コミュニケーション 英語あそび保育。

◎コウノトリの野生復帰→無農薬、減農薬の農業（コウノトリのエサの確保）

◎豊岡国際文化センター→県から引き受けなければならなくなったが、いっそのこと無料で貸し出そうとなり、今では演劇文化の拠点となっている。無料で使用する条件は地域とのコミュニケーション（発表やワークステーションなど）小学校で演劇の授業→コミュニケーション能力の向上につながる。

◎女性重視やインバウンド観光は、多様性を受け入れること。海外へ行かなくても、豊岡で世界と触れ合える。

◎楽天から職員を派遣してもらい、数値目標や戦略をもつようになった。

◎観光の閑散期に海外からの客が増えると、通年雇用がうまれる。

◎高校の卒業式に親からの「高岡卒業証書」が渡される→「あなた方が帰ってきたくなるようなまちづくりを目指します！」

### 【講義2】

演題：観光立国と地方創生～インバウンドが切り拓く地域の未来

講師：中村好明氏（一般社団法人日本インバウンド連合会理事長）

ドラッカー「既に起こっている未来を体系的に探ること」ほとんどの未来はすでに世界のどこかで起こっている。思いつきではなく、徹底的に、しらみつぶしに探ることが必要である。

インバウンド＝爆買いではない。明治維新から150年たったが、これからの150年を考える。22世紀は遠い未来ではない。今生まれた子どもが活着しているうちに22世紀は来る。今と繋がっている未来だ。

インバウンド＝日本に集まってくる人、もの、カネ、情報のベクトルのすべて

◎5つの「き」が必要。①いしき→②ちしき→③ゆうき→④げんき→⑤けしき

◎観光立国の5者→若者、ばか者、よそ者、切れ者、ほんもの

◎まず自分の国を良く知る。シティ・プライドの形成。

◎水戸岡鋭治氏→「水仕事」お金を得る仕事・「花仕事」見返りを考えない社会への奉仕。水仕事と花仕事を一緒にやるのが公共。公共哲学＝開かれた哲学。

◎今はほとんどの人が水仕事しかしていない。花仕事を行政に押し付けようとしている。議員も市の職員も水仕事。自分の市のことだけでなく、近隣市町のことを考えるのが花仕事。

◎地域全体を醸す力が必要。花仕事をやらないと、次の水仕事はできない。

◎観光立国は哲学立国であり、我が町を知ること。

◎若者を重視する。明治維新もU40が活躍。年配の人ではしゃばらず、40歳以下の方が動きやすい環境を作り、サポートしてあげるのが良い。

◎国際関係人口を増やすこと。リピーター化。地域のファンを国内外につくる。一人ひとりがファン作り。また来たい！あなたに会いたい。

4月13日（金）2日目

### 【講義3】

演題：観光・地域振興のあり方を考える～観光は地域を元気にできるか～

講師：東徹氏（立教大学観光学部教授・観光研究所長）

今日のキーワードは「経験」。観光とは経験体験、住んでよし（誇り・愛着）、訪れてよし（経験・価値）の地域づくり。観光資源（材料）はいたるところに眠っている。それを観光対象にする仕方（料理方法）に問題がある。

◎まず、地元を知る。比較が必要。（私はキンビールが好きだ。だから、キンビールしか飲んだことがない→比較ができていない）

◎地域資源に意味を付与すると、観光対象になる。（アニメの聖地）

◎わが町に金閣寺がないからダメではなく、地域資源を観光対象化する。

◎「いつでも、どこでも、誰にでも」→「今だけ、ここだけ、あなただけ」が享受できる価値。チェーン店のマニュアルではなく、今、目の前にいるあなたに何をしたいのか。地域で出会った人・物・事の感動体験→記憶に残る

◎市民が主役の観光まちづくり＝地域振興につながる。

◎行政がやるのは地域政策、まちづくりは住民運動。より多くの人を巻き込むことが必要。地域の誇りに関わっている→「わかちあい」

◎金閣寺も観光を目的に作ったものではない→持続すべきは観光ではなく地域

◎住民の満足と帰属意識→うちに来ると何ができるのか。価値を保障する。

◎地域アイデンティティ（どう見られたいか＝理想）→地域イメージ（どう見られているか＝結果）

◎地域（ふるさと）への誇り・愛着・独自性を守ろうとする強い思い→ビジネスとして成立させ、回す仕組みをつくる。お金を落とすのではなく、回す仕組みをつくらないと失敗する。

### 【講義4】

演題：京菓子老舗女将のとおきのお話

講師：田丸みゆき氏（笹屋伊織女将・京都観光おもてなし大使）

◎京都人のおもてなしを学ぶ→感謝、心を残すお見送り。お歳暮を受け取るまでに3回断る→3回断れば、3回お礼が言える。遠くから来てもらっているのに、1回で受け取ったらあっさりしてしまう。深いコミュニケーションを大切にする。

◎お菓子の前に「京」がつく理由。信州そばなど、そばには多くの地名が付くが、お菓子の前につく地名は京だけ。

◎京菓子を通じて日本の美意識を知る。五感の芸術→五感で楽しむ。

◎日本のお菓子には祈りが込められている。

誕生日やクリスマスにケーキを食べる理由はない。バレンタインのチョコレートも恵方巻きも業界の戦略である。

京菓子は子どもの成長と子孫繁栄を願う。お米には神が宿っている。小豆は厄除け。

◎おもてなしとは、

①お役立ち

ケチにならない。自分の利益ばかり、徳ばかり→結局は損をする。

情報のケチ→知っている情報を相手に与えない。

能力のケチ→能力をもっているのに使わない。

ご縁のケチ→紹介をしふる。輪が広がらない。

②お名前をお呼びする→〇〇さん、こんにちは

◎職人から学んだ本当のもてなし→お客様第一主義

◎老舗の在り方、300年続いてきた理由

ここに来たら、いつも変わらないものがある。→それを求めている人がいる限り、続けていきたい。

■所感

観光とは、自分の住んでいる地域を見直すことであり、地域の資源を見つけ、地域のプライドを再発見し、地域づくり・まちづくりに繋がることだと良くわかった。地域をどのようにしていきたいかという考えも重要であり、インバウンドも含め、江南市の観光のあり方について見直すきっかけとなった。江南市をどのような街にしていきたいのか、江南市へ来ていただくにはどうしたら良いのか、地域づくり・まちづくりの今後を考えていきたい。